

振興部の **知っ↝ところ！神美**

知っておいてほしい神美を紹介します。



【長谷編Ⅲ】

観音堂の由来

いまから凡そ830年前、大和の国(現奈良県)に、勢力のあった真言宗豊山派大本山長谷寺に、当時全国に150の末寺を有し早くから拓けた当地にその一つとして建立されたもの。

特に安産と子供の健全な成長を願う者が叶えられるとして古くから崇敬されている。

内陣の観音像は、享保3年京都五条の小松佛師の作と伝えられ、左手に蓮花を挿した水瓶を持ち、右手に錫杖を立てた立像が特徴とされている。

今もなお十七夜として、7月17日に、講中会員全員でお参りし、お経を詠歌している。

また、春・秋彼岸には、当番講員によりお参りし、お経を詠歌している。

《長谷観音の御詠歌》

皆人のはっせのたびの大さわの
法のちかいの大ざわの花

「神美お宝紹介 冊子より」



弁天神社(巖島神社)

創立年月日は不詳、もと大安寺境内に奉祀されていたものと伝えられている。

昭和30年4月1日、上鉢山より分離して長谷の氏神とする。

「神美お宝紹介 冊子より」

